



クレド

一人の看護師として患者様に安心を与えられるような看護師でありましょう

治療を受ける患者様は不安な気持ちでいっぱいです。

医師では埋められない患者様の不安を取り除けるような看護を心がけましょう。

不安でいっぱいな時に時に優しく接してくれる看護師は患者様にとって、とても安心感のある存在です。看護師という存在が患者様にとって白衣の天使であるために、どのような接し方をすべきか考えて行動しましょう。

又、患者様にとって優しくもあり頼もしくある存在であるために、知識を深め看護スキルの向上に努めましょう。

介助技術の向上に努めましょう

手術の精度は介助を行う看護師の技量によっても大きく左右されます。

第3者として介助をするのではなく、手術を行う一人であるという思いで介助を行う事で、医師と二人三脚で行う高い次元での手術を患者様に提供する事が出来ます。

又、介助におけるすべての動作には意味があります。

ひとつひとつの動作の意味を考え積み重ねることで、高い次元での介助技術が完成されます。

看護師という仕事にとらわれない

人より優れた看護師になるためには、看護師というスキルに限定しては成長は望めません。

看護師が看護業務が出来る事は当たり前です。

医療従事者として、サービス業者として、社会人として人間力の向上に努め、どれだけのプラスαを自分自身に築けるかが重要です。

看護師という資格に守られた職に甘えず、更なる人間的な成長を心がけましょう。

周りの業務に目を向けましょう

看護師の仕事は閉鎖された空間での仕事です。

その空間のことしか考えていなければ、自分の行うべき仕事は見えてきません。

自分の前に、担当する患者様のバトンを渡されるまでに、他のスタッフがどのような業務を行っているかに興味を持つ事で、自分の渡されたバトンの重みを理解して業務を行えるはずで。

他の業務にも目を向ける事で自分達の行う仕事の重みを実感して業務に取り組みましょう。

医療従事者は神経質であれ

医療業務はささいなミスが事故につながります。

普段はどのような性格であってもよいのですが、医療に携わっている間は些細な事に目を配り、ひとつひとつの動作に神経質でなくてははいけません。

分からない時は自分の判断のみで行わず、「報告」「連絡」「相談」を徹底して確実な業務を心がけましょう。